名称　出雲崎港防波堤灯台
位置
所在地　新潟県三島郡出雲崎町（出雲崎港防波堤外端）
北緯　三七―三二―三五
東経　一三八―四〇―五六
変更した事項
灯質　群せん赤光　毎五秒に二せん光
光度　実効光度二七カンデラ
変更年月日　令和七年十月六日

名称　音調津港東防波堤灯台
位置
所在地　北海道広尾郡広尾町（音調津港東防波堤外端）
北緯　四二―一三―三八
東経　一四三―一九―一六
変更した事項
灯質　群せん緑光　毎六秒に二せん光
光度　実効光度七八カンデラ
光達距離　五・〇海里
高さ　地上から構造物の頂部まで九・二メートル
変更年月日　令和七年十月七日

名称　中国電力三隅発電所三隅港指向灯
位置
所在地　島根県三隅港（中国電力株式会社三隅発電所専用岸壁）
北緯　三四―四七―一三
東経　一三一―五五―二四
変更した事項
灯質　不動白光（可航水路表示）
　　不動緑光（左舷側表示）
　　不動赤光（右舷側表示）
光度　昼間
　　白光一五、〇〇〇カンデラ
　　緑光一三、〇〇〇カンデラ
　　赤光一三、〇〇〇カンデラ
　　夜間
　　白光一八〇カンデラ
　　緑光一五〇カンデラ
　　赤光一八〇カンデラ
光達距離　昼間
　　白光一・五海里
　　緑光一・五海里
　　赤光一・五海里
　　夜間
　　白光六・〇海里
　　緑光六・〇海里
　　赤光六・〇海里
高さ　地上から構造物の頂部まで五・三メートル
　　平均水面上から灯火まで九・〇メートル
記事
一　白光は、二二四・五度を中心として幅約四・〇度で可航水路を示す。緑光（幅約五・五度）及び赤光（幅約五・五度）は、それぞれ水路の左舷側及び右舷側を示す。
二　この指向灯は船舶が入港するときに点灯する。
三　指向灯の位置を示すための標示灯（連続急せん黄光　平均水面上から灯火までの高さ九・二メートル）を点ずる。
四　中国電力株式会社三隅発電所管理
変更年月日　令和七年十月七日

名称　柏崎港西防波堤灯台
位置
所在地　新潟県柏崎港（西防波堤外端）
北緯　三七―二二―五九
東経　一三八―三二―三五
変更した事項
灯質　単せん赤光　毎三秒に一せん光
光度　実効光度四二〇カンデラ
変更年月日　令和七年十月七日

名称　桂恋港南防波堤灯台
位置
所在地　北海道釧路市（桂恋港南防波堤外端）
北緯　四二―五六―四〇
東経　一四四―二六―四五
変更した事項
光度　実効光度七八カンデラ
光達距離　五・〇海里
変更年月日　令和七年十月八日

名称　昆布森港第三南防波堤灯台
位置
所在地　北海道釧路郡釧路町（昆布森港第三南防波堤外端）
北緯　四二―五六―五四
東経　一四四―三一―四〇
変更した事項
灯質　群せん赤光　毎六秒に二せん光
光度　実効光度七八カンデラ
光達距離　五・〇海里
変更年月日　令和七年十月八日

名称　能登赤崎港防波堤灯台
位置
所在地　石川県羽咋郡志賀町（赤崎港防波堤外端）
北緯　三七―一〇―〇一
東経　一三六―四〇―二八
変更した事項
灯質　単せん緑光　毎三秒に一せん光
変更年月日　令和七年十月八日
記事　一時記事変更中のところ灯質変更のうえ復旧

名称　厚内港突堤灯台
位置
所在地　北海道十勝郡浦幌町（厚内港突堤外端）
北緯　四二―四七―五八
東経　一四三―四九―二七
変更した事項
灯質　単せん緑光　毎三秒に一せん光
光度　実効光度四二〇カンデラ
高さ　地上から構造物の頂部まで八・四メートル
　　平均水面上から灯火まで一二メートル
変更年月日　令和七年十月九日

名称　大樹港西防波堤灯台
位置
所在地　北海道広尾郡大樹町（大樹港西防波堤外端）
北緯　四二―二八―二三
東経　一四三―二六―〇二
変更した事項
光度　一一〇カンデラ
光達距離　五・五海里
変更年月日　令和七年十月九日

名称　能生港北防波堤灯台
位置
所在地　新潟県能生港（東防波堤外端）
北緯　三七―〇六―五六
東経　一三七―五九―五七
変更した事項
灯質　群せん赤光　毎七秒に二せん光
光度　実効光度二七カンデラ
高さ　地上から構造物の頂部まで五・三メートル
　　平均水面上から灯火まで一四メートル
変更年月日　令和七年十月九日

名称　十勝港南防波堤灯台
位置
所在地　北海道十勝港（南防波堤外端）
北緯　四二―一八―〇八
東経　一四三―二〇―五〇
変更した事項
灯質　単せん緑光　毎四秒に一せん光
高さ　地上から構造物の頂部まで九・七メートル
　　平均水面上から灯火まで一五メートル
変更年月日　令和七年十月十日

名称　飛島港法木北防波堤灯台
位置
所在地　山形県酒田市（飛島港法木北防波堤外端）
北緯　三九―一二―一六
東経　一三九―三三―三一
変更した事項
記事　本灯台の改修工事の実施に伴い、灰色のシートにより覆われている。
変更年月日　令和七年十月十四日